

リンクF スポーツによる地域づくりの推進

施策1 トップ・プロスポーツと連携した地域づくりの推進

目標・方向性（関連性）

スポーツの価値や魅力に触れる取組を推進する

ア トップ・プロスポーツ連携事業（リンクA・B）

イ トップ・プロスポーツ団体との情報交換（リンクA・B・E）

令和元年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】 担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
・ちば夢チャレンジかなえ隊 派遣事業 【500】生涯スポーツ班	県内10小 中学校	県内10 小学校	県内10 小中学校		
・ちば夢チャレンジ☆ パスポート・プロジェクト ※千葉ロッテマリーンズ	10試合 20,000組	9試合に 20,000組	10試合に 20,000組		
※千葉ジェッツふなばし	6試合 6,000組	6試合 3,600組	6試合 3,600組		
※ジェフ・ユナイテッド 市原・千葉	3試合 1,500組	5試合に 2,000組	4試合 2,000組		
・トップ・プロスポーツ団体 との情報交換 【280】生涯スポーツ班	連絡協議会 準備会開催	連絡協議会 開催 (3月)	連絡協議会 開催(3月)		

→ 継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○ちば夢チャレンジかなえ隊派遣事業【500】 生涯スポーツ</p> <p>県内トップ・プロスポーツ団体に所属する選手やOB、コーチ等を講師として小中学校へ派遣し、体育・スポーツ活動での交流を通して、広く子どもたちにスポーツの楽しさを体験させることを目的として事業を実施しました。</p> <p>35市町114校から派遣希望があり、各チームにおいて派遣校を調整して、8団体が10校を訪問しました。児童や教職員から、「スポーツの楽しさを味わうことができた」「子どもたちが意欲的に授業に取り組むことができた」などの感想が寄せられ、大変好評でした。</p> <p>○ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト【-】生涯スポーツ</p> <p>千葉ロッテマリーンズ、千葉ジェッツふなばし及びジェフ・ユナイテッド市原・千葉と連携し、県内在学の小学生を対象に、児童1名と保護者1名をペアで公式戦ホームゲームへ招待するとともに、キャリア体験プログラムの提供を行いました。</p> <p>千葉ロッテマリーンズは、夏休みを中心とした9試合に20,000組、ジェフ・ユナイテッド市原・千葉は、夏休みを中心とした5試合に2,000組、千葉ジェッツふなばしは、春休みを中心とした6試合に3,600組を招待しました。</p> <p>参加した児童や保護者からは、「親子で楽しい時間を過ごせた」「普段はできないことが体験プログラムでできてよかった」などの感想が寄せられました。また、事業の目的・ねらいに関してはほとんどの学校から賛同を得て、満足度の高いものとなりました。</p>	<p>○ちば夢チャレンジかなえ隊派遣事業【500】 生涯スポーツ</p> <p>県内トップ・プロスポーツ団体に所属する選手やOB、コーチ等を講師として小中学校へ派遣し、体育・スポーツ活動での交流を通して、広く子どもたちにスポーツの楽しさを体験させることを目的として事業を実施します。</p> <p>(8団体を10校へ派遣予定)</p> <p>*派遣予定団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉ロッテマリーンズ（野球） ・NECグリーンロケッツ（ラグビー） ・オービックシーガルズ（アメフト） ・富士通陸上部（陸上） ・バルドラール浦安FBサラ（フットサル） ・ジェフ・ユナイテッド市原・千葉（サッカー） ・千葉ジェッツふなばし（バスケット） ・千葉ゼルバ（バレーボール） <p>○ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト【-】生涯スポーツ</p> <p>千葉ロッテマリーンズ、千葉ジェッツふなばし及びジェフ・ユナイテッド市原・千葉と共同で実施する取り組みで、県内在学の小学生を対象に、児童1名と保護者1名をペアで公式戦へ招待するとともに、キャリア体験プログラムを行います。</p> <p>千葉ロッテマリーンズは、夏休みを中心とした10試合に20,000組を招待します。ジェフ・ユナイテッド市原・千葉は、夏休みを中心とした4試合に2,000組を招待します。千葉ジェッツふなばしは、11月～3月にかけて6試合に、3,600組程度を招待します。</p>

○プロチームや本県のトップアスリート
による青少年の競技力向上や地域の活性化
(トップ・プロスポーツ団体との情報交換)

【一】生涯スポーツ

プロスポーツチームをはじめトップチーム、トップアスリートと学校等をつなぐシステムの構築には至っていないことから、計画的・継続的な交流を進めるための研究を進めてまいります。

平成24年5月にプロスポーツチームとアマチュアスポーツが、スポーツを通じた地域貢献を行う組織を立ち上げられたことから、こうした組織と連携を図るなどして、学校や地域をつなぐシステムの構築を目指し、平成31年3月に連絡協議会を開催しました。

○トップアスリート等活用事業(再掲)

【700】競技スポーツ

・オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートや指導者を学校や地域クラブ等に講師として派遣し、スポーツ教室や強化練習会等を行いました。

○プロチームや本県のトップアスリート
による青少年の競技力向上や地域の活性化
(トップ・プロスポーツ団体との情報交換)

【280】生涯スポーツ

プロスポーツチームをはじめトップチーム、トップアスリートと学校等をつなぐシステムの構築には至っていないことから、計画的・継続的な交流を進めるための研究を進めてまいります。

平成24年5月にプロスポーツチームとアマチュアスポーツが、スポーツを通じた地域貢献を行う組織を立ち上げられたことから、こうした組織と連携を図るなどして、学校や地域をつなぐシステムの構築を目指すために、令和2年3月に千葉県トップ・プロスポーツ連絡協議会を開催します。

○トップアスリート等活用事業(再掲)

【700】競技スポーツ

・オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートや指導者を学校や地域クラブ等に講師として派遣し、スポーツ教室や強化練習会等を行います。

リンク F スポーツによる地域づくりの推進

施策 2 スポーツイベントを活用した千葉の魅力発信

目標・方向性（関連性）

千葉のポテンシャルが活かせるスポーツイベントを開催する

ア 交流機会の創出（リンク B・E）

イ 積極的な関わりの促進（リンク C・E）

令和元年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
<p>・ちばアクアラインマラソンの開催準備【47,000】 ちばアクアラインマラソン準備室</p>	<p>(検証・精査) ちばアクアラインマラソン 2018 開催決定 平成 30 年 (2018) 10 月 21 日 (日) 大会要項・募集要項決定</p>	<p>10 月 21 日開催 ・参加者 15,669 人 7F:11,058 人 7F:4,607 人車いす7F:4 人 ・運営スタッフ, 317 人 ・沿道応援観衆 36 万人 (検証・精査)</p>	<p>(開催準備事業) ちばアクアラインマラソン 2020 開催決定 令和 2 年秋</p>		
<p>・「ちばアクアラインマラソン」開催に伴う千葉県の観光物産展の開催及び千葉県観光のPR業務【53,000】観光企画課観光企画室</p>	<p>・千葉県の観光物産展の開催企画 ・千葉県の観光PRの検証</p> <p>検証・精査 →</p>	<p>千葉県観光物産展の開催</p>			
<p>・観光地域づくり育成支援事業（新規） ※宿泊滞在型観光推進事業の発展系として令和元年度より新規新設 【40,000】観光企画課観光企画室</p>	<p>・滞在型観光推進事業を活用した地域への支援 ・地域におけるスポーツツーリズムの取組への支援</p>	<p>・地域におけるスポーツツーリズムの取組を含む、宿泊・滞在型観光推進事業を活用した地域への支援</p>	<p>・地域におけるスポーツツーリズムの取組を含む、観光地域づくり育成支援事業を活用した地域への支援</p>		<p>令和元年度からの3ヶ年計画継続</p>
<p>・大規模イベント支援事業 【10,000】観光企画課観光企画室</p>	<p>大規模イベント開催支援 ・大規模イベントの開催(スポーツイベント含む)に対する支援</p>	<p>大規模イベント開催支援 ・大規模イベントの開催(スポーツイベント含む)に対する支援</p>	<p>大規模イベント開催支援 ・大規模イベントの開催(スポーツイベント含む)に対する支援</p>		

→ 継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○ちばアクアラインマラソン 2018 の開催準備【140,000】ちばアクアラインマラソン準備室・事業の目的・概要</p> <p>スポーツを通じた健康増進や体力向上（スポーツの振興）と、千葉県が有する様々な魅力を発信し、多くの人たちに千葉県と東京湾アクアラインの魅力を知らせてもらうことで、地域間交流の拡大による地域活性化を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピックを控え、スポーツを通じたおもてなしの心を醸成していくために、平成30年（2018）10月21日（日）に「ちばアクアラインマラソン 2018」を開催しました。大会当日は、15,669人のランナーが出走し、澄み切った秋空の下、富士山の絶景を楽しみながら東京湾アクアラインを駆け抜けました。</p> <p>今回は、パラ・スポーツ枠や特別チャリティ枠を新設し、様々なランナーが参加できるよう参加枠を多様化しました。外国人ランナーは前回の480名から604名に増えたことや台湾のマラソン大会との交流で大会の国際化も図られました。</p> <p>コース沿道やフィニッシュエリア等のイベント会場には、約36万人もの方々が来場し、応援やイベントを楽しんでいただきました。「チーム千葉」一丸となって、おもてなしの心を発信することができました。</p> <p>新たな取り組み</p> <p>（1）「団体戦」の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加チームごとにタイムを競う「団体戦」を実施しました。（※マラソン種目のみ） ・281組、1,033人が出走しました。 <p>（2）「大会公式トレーニングアプリ（愛称：チーバくんマラソン特訓アプリ）」の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラソンのトレーニングを楽しく継続できるメニューに加え、実際にコースを試走した際に役立つ情報（給水・給食等のポイントや大会コースでのキロ数など）を提供しました。 ・各自のトレーニングに役立つランニング・モード（2,878人）、生涯スポーツの観点から健康の増進を図るウォーキング・モード（627人）の2種類を配信し、3,505の方がダウンロードを行い楽しんでいただきました。 	<p>○ちばアクアラインマラソンの開催準備【47,000】ちばアクアラインマラソン準備室・事業の目的・概要</p> <p>スポーツを通じた健康の増進や体力向上の促進（スポーツの振興）と、本県が有する様々な魅力を発信するため、令和2年秋に第5回目となる「ちばアクアラインマラソン 2020」を開催することとし、開催準備年にあたる今年度は、運営方法の検討やPRイベントの実施など、関係機関と連携して準備を進めます。</p>

○「ちばアクアラインマラソン」開催に伴う
PR事業 【53,000】
観光企画課 観光企画室

・事業の目的・概要

「ちばアクアラインマラソン」の開催にあたり、来場者向けに観光物産展や抽選会などの観光PRを実施し、観光地千葉の知名度向上並びに県産品の販路拡大を図りました。

(1) 千葉県観光物産展の開催及び

千葉県観光のPR 【18,000】

イベント会場(スタート・フィニッシュ地点)における物産展等の開催とマラソン沿道における応援及び千葉県物産・観光PRを行いました。

(2) 大会来場客及び観光PRの向上に

向けた抽選会 【2,000】

大会に参加するランナーに同行する応援者等が参加できる抽選会を実施し、抽選会の参加を通じた本県観光の魅力をPRしました。

(3) マラソンランナー宿泊優待キャンペーン

【33,000】

ちばアクアラインマラソンの参加選手を対象に、県内観光を促進するため、本事業に協賛する県内宿泊施設において利用できる宿泊優待券を配布しました。

○宿泊・滞在型観光推進事業 【40,000】
観光企画課 観光企画室

・事業の目的・概要

近年の環境・健康ブームや、東京オリンピック・パラリンピックの開催等により、スポーツへの関心が高まっていることから、スポーツツーリズムを通じて、「宿泊・滞在型観光」を推進する市町村の取組に対して支援を行い、本県への観光客の増加を図りました。

○大規模イベント支援事業 【10,000】
観光企画課 観光企画室

・事業の目的・概要

観光客の誘致を一層促進するため、県外、海外から相当数の参加者や観光客等の来訪があり、宿泊や終日滞在につながる大規模イベント(スポーツイベントを含む)に対して助成します。※平成30年度は該当なし。

○「ちばアクアラインマラソン」開催に伴う
PR事業 【20,000】
観光企画課 オール千葉おもてなし推進班

・事業の目的・概要

「ちばアクアラインマラソン」の開催にあたり、来場者向けに観光物産展や抽選会などの観光PRを実施し、観光地千葉の知名度向上並びに県産品の販路拡大を図ります。

・千葉県観光物産展の開催及び

千葉県観光のPR 【18,000】

イベント会場(スタート・フィニッシュ地点)における物産展等の開催とマラソン沿道における応援及び千葉県物産・観光PRを行います。

・大会来場客及び観光PRの向上に

向けた抽選会 【2,000】

大会に参加するランナーに同行する応援者等が参加できる抽選会を実施し、抽選会の参加を通じた本県観光の魅力をPRします。

・マラソンランナー宿泊優待キャンペーン

【33,000】

ちばアクアラインマラソンの参加選手を対象に、県内観光を促進するため、本事業に協賛する県内宿泊施設において利用できる宿泊優待券を配布します。

○観光地域づくり育成支援事業 【40,000】
観光企画課 観光企画室

・事業の目的・概要

近年の環境・健康ブームや、東京オリンピック・パラリンピックの開催等により、スポーツへの関心が高まっていることから、地域のスポーツツーリズムの取組に対して、「観光地域づくり育成支援事業」を活用して支援を行い、本県への観光客の増加を図ります。

○大規模イベント支援事業 【10,000】
観光企画課 観光事業・団体支援班

・事業の目的・概要

観光客の誘致を一層促進するため、県外、海外から相当数の参加者や観光客等の来訪があり、宿泊や終日滞在につながる大規模イベント(スポーツイベントを含む)に対して助成します。

リンク F スポーツによる地域づくりの推進

施策3 身近なスポーツ資源と連携した地域づくりの推進

目標・方向性（関連性）

身近なスポーツ資源の開拓・発掘及び有効活用

ア 現有施設や国体開催地の活用（リンク B・C・D）

イ 地域の人でつなぐスポーツの推進（リンク A・B・E）

令和元年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民体育大会開催費 【6,300】競技スポーツ ・ 県民体育大会におけるスポーツ 体験等のサブイベント 【1,200】競技スポーツ ・ 県立学校体育施設開放事業 【2,000】生涯スポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月27日を合同開会式、28日29日を中心会期とし、39競技で実施 ・20競技会場で体験活動・実技講習会等を開催 <p>62校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月26日を合同開会式、27日28日を中心会期とし、39競技で実施 ・11競技会場で体験活動・実技講習会等を開催 <p>66校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月25日を合同開会式、26日27日を中心会期とし、39競技で実施 体験活動・実技講習会等を開催予定 <p>66校</p>		

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○千葉県民体育大会開催事業【6,300】 競技スポーツ 「ゆめ半島千葉国体」を契機に広く県民に普及したスポーツを、県民の健康増進と体力の向上を図りながら県内各地に振興し、県民生活を明るく豊かにすることを目的に開催しました。 総合開会式：平成 30 年 10 月 26 日 中心会期：平成 30 年 10 月 27 日～28 日 実施競技：39 競技</p> <p>○県民体育大会におけるスポーツ体験等のサブイベント【1,200】競技スポーツ 県民体育大会の 11 競技会場で体験教室や実技講習会等を開催しました。</p> <p>○県立学校体育施設開放事業【2,000】 生涯スポーツ（再掲） リンク C 施策 2 に掲載</p> <p>○総合型クラブとの連携【一】体育課 地域住民が主体的に地域のスポーツ環境を形成する「新しい公共」が実現できるよう総合型クラブへの支援内容や範囲を一層拡大します。 (再掲) リンク B 施策 1 推進月間関連イベントとして「スポーツで元気いっぱい！親子体験イベント」を県内 11 クラブで実施し、近隣の小学校と連携して、親子の触れ合いを通してスポーツに親しむきっかけとなる機会を設けました。10 市町の 56 校に参加要請をし、683 名が様々な運動に取り組みました。</p>	<p>○千葉県民体育大会開催事業【6,300】 競技スポーツ 「ゆめ半島千葉国体」を契機に広く県民に普及したスポーツを、県民の健康増進と体力の向上を図りながら県内各地に振興し、県民生活を明るく豊かにすることを目的に開催します。 総合開会式：令和元年 10 月 25 日 中心会期：令和元年 10 月 26 日～27 日 実施競技：39 競技</p> <p>○県民体育大会におけるスポーツ体験等のサブイベント【1,200】競技スポーツ 県民体育大会の競技会場で体験教室や実技講習会等を開催します。</p> <p>○県立学校体育施設開放事業【2,000】 生涯スポーツ 「開放校が開放しやすく」「利用者相互が利用しやすい」環境を整備することにより開放を促進するとともに、地域スポーツの推進に努めます。</p> <p>○総合型クラブとの連携【一】体育課 地域住民が主体的に地域のスポーツ環境を形成する「新しい公共」が実現できるよう総合型クラブへの支援内容や範囲を一層拡大します。</p>